

## 2021年度 玄海原子力防災訓練（10/1）における課題対応等について

### 1. はじめに

2021年10月1日に実施した玄海原子力防災訓練時において、振り返り等で抽出された意見を踏まえ、以下の改善事項を抽出した。

抽出された課題に対し、それぞれ区分を設定し、改善に向けた取組みを検討する。

#### 【抽出された内容】

No	抽出された課題 等	区分	改善事項 等
1	ERCへの情報共有や対策本部内の情報共有に使用する概略系統図などの情報共有シートについて、対象号機が容易に判別できるものとなっていなかった	情報共有シート	■情報共有シートの視認性向上（号機間違い防止）
—	その他主な改善内容	その他	①備付資料の充実 ②プラント状況等の全体説明 ③COP作成の習熟

抽出された課題等に対する更なる改善事項の対策については、2022年1月18日に予定している川内原子力防災訓練時において実施状況を確認する。なお、今回の対策について、社内訓練までに習熟訓練等を実施し、対応者の対応能力向上を図る。

### 2. 検討内容

#### No1：情報共有シートの視認性向上

##### （課題）

- ERCへの情報共有や対策本部内の情報共有に使用する概略系統図などの情報共有シートについて、対象号機が容易に判別できるものとなっていなかった。本課題はERCプラント班並びに社内関係者等複数の方からコメントとして挙げられたものであり、優先度は高いものである。

##### （原因・要因）

- 号機毎に定めている情報共有シートの様式に対象号機を記載しているものの、色等による明確な識別がなかった。

##### （対策）

- 対象号機が容易に判別できるように情報共有シートの様式見直しとして、号機毎に異なる着色を行う等、わかりやすい記載を実施する。  
→色による識別等の様式見直しにより、視認性向上（号機間違い防止）に寄与できる。

区分：「その他」主な改善内容等

No	改善内容 等	対策 等	備 考
①	<p><b>備付資料の充実</b></p> <p>炉心損傷判断に必要な格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ・低レンジ）について、使用者が相関関係を把握し、健全性を確認できるよう各計測範囲を備付資料に取り込み、活用出来るようにした方が良い。</p>	<p>■備付資料に格納容器内高レンジエリアモニタの計測範囲（高レンジと低レンジの相関図を含む）を追加し、説明性向上を図る。</p>	社内振返り
②	<p><b>ERC へのプラント状況等の全体説明</b></p> <p>ERC との共通認識を図るための工夫として、プラント状況等（戦略に対する対応手段の準備状況を含む）をまとめた説明を行う必要がある。</p>	<p>■ERC との情報共有において、プラント状況変化が少ない場面などでプラント状況等（戦略に対する対応手段の準備状況を含む）の説明を実施するよう周知する。</p>	NRA 助言 社内振返り
③	<p><b>COP 作成の習熟</b></p> <p>今回の訓練で導入した COP の電子作成について、今後も円滑な情報共有を行うため COP 作成者の習熟を図る必要がある。</p>	<p>■COP 作成担当者に対し、個別教育等を通じて、COP 作成の習熟を図る。</p>	社内振返り

以 上